

メッセ大橋耐震補強設計業務委託（7－1） 特記仕様書

第1章 総 則

第1条 目 的

耐震性能確保のための耐震補強工事発注に必要な図面作成、数量算出等を目的とする。
対象とする橋梁は以下のとおりとする。

橋梁名	業務内容
・メッセ大橋（上り線） ・メッセ大橋（下り線）	耐震補強設計

第2条 適 用

- 1．本特記仕様書に、記載されていない事項については、「土木設計業務共通仕様書」（千葉市測量・調査・土木設計業務必携 最新版）によるものとする。
なお、「土木設計業務共通仕様書」にある「管理技術者」を「主任技術者」に読み替えて適用するものとする。
- 2．本特記仕様書は、契約書第1条に規定する設計図書である。

第3条 履 行 期 間

本業務の履行期間は、契約締結日の翌日から160日間とする。

第2章 業 務 内 容

第4条 橋梁諸元は以下のとおりとする。

橋名	橋長 (m)	有効幅 員 (m)	上部構造	下部構造	桁下条件	既存 図面
・メッセ大橋 （上り線） ・メッセ大橋 （下り線）	42.0	16.5	PC プレテン T 桁橋	ラーメン式橋台 RCT 形壁式 （鋼管杭基礎）	浜田川	紙

第5条 耐震補強設計

① 詳細調査

橋脚の基部の鉄筋径及びピッチの確認（斫り実施）を想定している。なお、追加の調査が必要な場合は、監督職員と協議する。

② 復元設計

計画準備、現地踏査、詳細調査後、対象橋梁において、建設時の道路橋示方書の基準を満たす配筋等で復元設計を行うものである。

③ 耐震補強設計

復元設計を基に、必要な耐震補強の項目の抽出及び耐震補強の設計を行うものである。なお、橋脚の耐震補強の設計を想定している。追加で検討が必要な場合は、監督職員と協議する。

④ 図面作成（仮設含む）

発注に必要な図面の作成を行うものとする。必要な図面は、耐震補強一般図、耐震補強詳細図、施工要領図、仮設工図（交通規制図含む）及びその他発注に必要な図面とする。

⑤ 数量計算（仮設含む）

発注に必要な図面に適合した数量計算を行う。なお、仮設工の数量及び日数も算出することとする。

⑥ 概算工事費算出（仮設計画含む）

作成した図面及び数量計算を基に概算工事費の算出を行う。なお、積算基準等に無い単価等については、見積を徴収することとする。見積については、必要に応じた複数の見積を徴収する。

⑦ 施工計画（仮設計画含む）

耐震補強工事に必要な現場条件に適した施工計画を検討するものとする。なお、施工計画は工事着手（仮設工含む）段階から完了までの作業を対象とする。なお、本業務には、リサイクル計画書の作成を含むものとする。

⑧ 照査

橋梁耐震補強設計における作業毎、及び打合せ段階にて照査を行うものとする。

⑨ 報告書作成

本業務に関して報告書をまとめ、作成するものとする。報告書の製本版は概要版及び設計図面、数量計算書のみとし、それ以外については参考資料含め全て電子納品とする。

第6条 打合せ

本協議の打合せ（対面）回数は、業務着手時、中間打合せ（2回）、成果品納入時の計4回とする。

関係機関協議回数は、1回とする。（浜田川管理者：千葉県千葉土木事務所）

第7条 貸与資料

千葉市橋梁台帳、橋梁点検結果、その他耐震設計に必要な資料

第8条 現地立会

現地踏査時及び図面作成時において、監督職員と受注者は、現地立会を実施し、耐震設計における内容を確認することとする。

第3章 成果品

第9条 成果品及び電子成果

成果品は、下記について提出するものとする。なお、電子成果に関しては、最新の「電子納品運用ガイドライン」によるものとする。

- ① 報告書（A4版製本）設計図面（A3版）・・・・・・・・・・1部
- ② 〃 （電子成果 記録メディア：DVD-ROM）・・・・・・・・・・2部

第10条 成果品に対する責任の範囲

受注者は、本業務完了後といえども、誤測、または設計の失策、不備等が発見された場合及び工事の施工上困難な場合、若しくは支障が生じた場合は速やかに図書の訂正をしなければならない。これに要する経費は受注者の負担とする。

第11条 成果品の管理及び帰属

成果品の管理及び帰属は、すべて発注者にあるものとする。本業務の遂行課程及び完了後において受注者がこれを利用若しくは公表することは、一切これを認めない。

第4章 その他

第12条 契約手続きについて

- ① 本件に係る令和7年度補正予算が千葉市議会（令和8年第1回定例会）の議決を得られない場合は、契約手続きを中止する。
- ② 前項による契約手続中止に関し、市は一切の責任を負わないものとする。